

自然災害に備えよう

— 6月は土砂災害防止月間 —

昨年8月、広島市で大規模な土砂災害により甚大な被害が発生しました。本市でも昨年6月に土砂災害が発生し、家屋が全壊するなどの被害がありました。

災害から時間が経過し、日常を取り戻すと、その記憶や教訓も薄れがちになってしまいます。自然災害は止めることができません。そしていつ起こるかの予測もできません。私たちができることは、被害を最小限にすることだけです。

6月は土砂災害防止月間です。この機会に、自分自身の問題として防災について考え、家族で確認してみてください。



自然災害に備えよう

自然災害には、台風や大雨などによる風水害や土砂災害、突発的に発生する地震などがあり、人間の力では食い止めることができません。被害を最小限に抑えるために、日ごろからこれらの災害に備え、正しい知識を持ち、準備しておくことが大切です。

土砂災害から身を守る

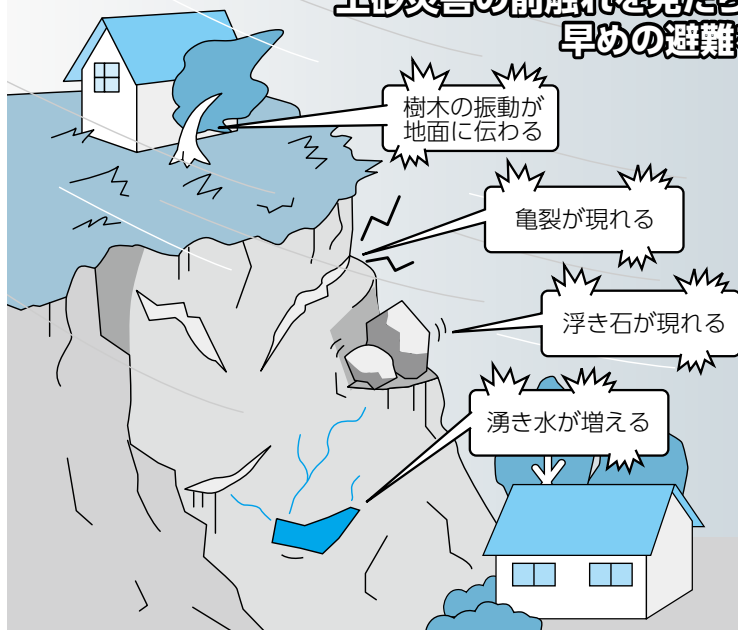
大雨が続くと、下のイラストの通り、がけ崩れなどの土砂災害が発生しやすくなります。気象台が発表する土砂災害警戒情報に注意するなど、情報を把握し、非常用持ち出し品の事前準備や、安全な避難路を確認しておくなど、適切な対策や避難を行いましょ。

早めに避難を

洪水や土砂災害の危険が予想される区域内にお住まいの人は、災害の前触れを感じたときは、早めに自主

土砂災害の危険信号

土砂災害の前触れを見たら、早めの避難を



避難することが大切です。

また、高齢者や病人、障がい者のいる家庭も、早めに避難しましょう。

土砂災害防災訓練

- ▽日時 6月7日(日)正午
- ▽午後4時
- ▽会場 冬室下公民館(冬室町)。
- ▽対象 冬室町冬室下地区の一部の住民。

ハザードマップ

市では土砂災害の恐れのある区域や避難場所などの情報を掲載した「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。河川課(市役所9階)や各區・区で配布している他、市庁から閲覧できますので、避難場所や避難経路の確認などにご利用ください。

※土砂災害防止月間 昭和57年7月の長崎大水害をきっかけに、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を深めるために国土交通省(旧建設省)により、昭和58年に制定されました。
 ◎この特集の内容や、土砂災害について詳しくは、市庁をご覧ください。河川課☎(632)2686、宇都宮土木事務所☎(626)3164へお問い合わせください。

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用無料、申込不要。
 区 地区市民センター、出 出張所、選 生涯学習センター、参 うつのみや表参道スクエア、HP ホームページ、Eメールアドレス、域 地域自治センター、活 市民活動センター